



令和6年6月27日

令和6年度の第1回学校運営協議会を開催しました

5月29日（水）に、令和6年度 館林市立第三中学校 第1回 学校運営協議会を、三中の図書室で開催しました。学校運営協議会委員、館林市教育委員会学校教育課、三中の担当職員が出席し、本年度の活動について協議しました。

令和6年度の学校運営協議会委員（13名）

青柳区長、六郷地区体協副支部長、主任児童員、西公民館長、三野谷公民館長、館林商工高校長、第六小学校長、第七小学校長、第十小学校長、館林総合福祉センター長、PTA会長、第三中学校長、CSディレクター

学校運営協議会の内容

- (1) 委嘱状交付
- (2) 学校運営協議会規則の説明（館林市教育委員会）
- (3) 会長、副会長選出
- (4) 令和6年度第三中学校の学校経営方針の承認
- (5) 令和6年度の学校運営協議会の取り組みについての協議
- (6) 生徒会行事参観（市夏季大会に向けた壮行会）



協議での主な意見

◆学校経営方針について

- 笑顔、前向き、感謝、尊重をキーワードに、あたたかい学校、安全・安心な学校、信頼される学校、やりがいのある学校、三中で良かった・三中がよかったと言われる学校を目指す。
- 主体性と思いやりのある生徒、正しい知識と正しい判断力を身に付けた生徒、何度でもチャレンジできる生徒の育成を目指す。その柱となるのが、豊かな心の育成、指導力と授業力の向上、信頼される学校づくりである。
- コミュニティ・スクールの活性化によるPTAや地域人材、ボランティア等の効果的な活用を図る。三中でやれることはたくさんあるが、昔のタイプのままでは成り立たない。アップデート、バージョンアップ、リニューアルを過去を生かしながら行う。

◆本年度の取り組みについて

- 学校の敷居を低くして、学校から地域に積極的に関わってもらいたい。地域行事にも積極的に参加してもらいたい。
- 地区の防災訓練を実施する際、避難場所となっている三中を活動拠点として、いろいろなイベントを行いたい。
- 小・中・高の課題が一致するのが交通安全の問題。交通安全で連携すれば互いに利がある。
- ヘルメットの着用について、小・中・高で連携して何かイベントができるといい。
- 交通安全の指導に、小学校で組織している見守り隊を活用できるといい。学校運営協議会で話し合いを重ねながら、協力できるようにしていきたい。
- 館林特別支援学校、館林商工高校が県の指定を受け、コミュニティ・スクールのモデル校となった。地域や地域にある学校との連携のあり方について、一緒に考えていきたい。
- 小学校から中学校に進学していった子どもたちの様子が気になる。小・中学校の教員間の連携を進め、子どもたちへの適切な指導ができるようにしていきたい。